

平成30年度学校業務カイゼン活動一覧(業務・行事削減抜粋)

校種	取組内容
小学校	学校文集の廃止により、まとめの時期に学力をつけさせる事に集中できた。
	個人懇談の回数減により、授業時数確保につながり、教員の多忙感減少につながった。
	運動会の開催時期・内容・運営方法の見直し、マーチング廃止、全校文集の廃止、修学旅行の時期の見直しにより、学校教育のねらいに即した教育活動と学習時間数の確保を行う事ができた。
	子供貯金の廃止により業務負担軽減となった。
	春季の陸上競技の取りやめにより、年度当初の春に、放課後、分掌事務や学級事務を行う時間がもてた。
	朝の街頭指導の実施場所の削減により、朝の業務の多忙を減らす事ができ、負担感も減った。
	会計業務を事務職員に一元化し、教員の負担軽減となった。
	教育課程外の対外的スポーツ大会の参加削減により、放課後の練習や大会引率など、担当する職員の負担がなくなった。
	運動会の種目数の削減により、準備期間も通常通り帰宅できた。
	水泳練習の回数減により、担任の放課後の時間が確保できた。
	スキー教室の宿泊をなくし、日帰り2日間とすることで、精神的にも肉体的にも、引率教員の負担がかなり軽減された。
	PTA執行部会・評議員会の開催回数減により、夜の教員出席がなくなり、PTA全体でも、会の開催回数を少なくし、短時間で終えようとする運営が始まった。
	運動会の準備物・種目見直し、練習時間の削減により、教員・児童共に負担感が減った。
	類似する行事を削減する事により、削減した行事の前後にはゆとりができた。
	1・2学期の通知表の所見欄の廃止により、児童と向き合う時間が増えたことで、より児童の様子がわかるようになった。
	中学校
他校との交歓スキー教室の宿泊をなくし日中の交流のみとすることにより、授業時間を確保し、学力の向上に向かえる。	
職員朝礼の回数減により、始業前に担任が余裕を持って教室に上がる事ができるようになった。	
資源回収・校内奉仕活動等に教員が参加しないことにより、教職員の休日確保ができた。	
礼状送付の廃止により、礼状分の郵送料、封筒などの経費が軽減された。	
PTA行事の土日の親子行事を廃止し、平日の参観へ振替することにより、教員の負担感がなくなった。	
運動会の種目削減(熱中症対策にも役立った)	
1、2年生で実施していた夏休みの地域体験活動を1年生のみとすることにより、教員の参加回数が1回になり、負担が大幅に軽減した。	
年に複数回あった地域住民との交流行事を年1回とすることにより、教職員の負担は減少した	
スキー教室の廃止、卒業文集の簡略化により、1月～2月の受験期または学年のまとめの時期に学力向上、生徒指導等に余裕をもって対応できた。	
職員朝礼の回数減により、余裕を持って担任が教室に入れるようになった。	
礼状送付の廃止により、教頭の業務が減った。	